

◆ ペイント・ア・ラ・ショー ◆ (準備)

《材料》

種類	商品名	容量、施工面積
下塗り材 (シーラー)	①セニクリル	2.5L=±20㎡ 10L=±80㎡
ベース材	②ペイント・ア・ラ・ショー	3.33kg=±8㎡ (2回塗りの場合) 10kg=±24㎡
着色剤	③グレインカラー	10kgに対し250gが標準

※施工面積は、下地の状況や施工方法、またテクスチャーによって変動します。



①



②③

◆ ペイント・ア・ラ・ショー ◆ (施工) (2回仕上げ)

① 下塗り

薄塗りでの仕上がりのため、下地処理は念入りに行ってください。
セニクリル(シーラー)は、下地と壁材の接着をよくするために必ず使用してください。濃い色を塗る場合は、吸い込みを均一にするため、セニクリルの前に左官シーラー(ハイフレックス等)を塗ることをおすすめします。
セニクリルをローラーなどで塗った後、6～12時間乾かしてください。
2度塗りの際には、4時間以上乾かしてから2度目を塗ってください。



② 中塗り(仕上げ1回目)

ペイント・ア・ラ・ショーは未着色(白色)です。現場でグレインカラー(着色材)にて着色してください。着色する場合は、ペイント・ア・ラ・ショー3.33kgに対して80kg前後のグレインカラー、10kgに対しては250gのグレインカラーを混ぜ、ムラができないように攪拌機で混ぜます。(C0(白)は着色しないカラーを示します)
※ 混ぜるカラーの量は自由に調整できます。

材料が攪拌できたら薄手のステンレスコテ(0.3mm)でペイント・ア・ラ・ショーを0.5mm厚程度に薄く塗ります。厚みは塗装をするようなイメージで、薄く平滑に塗ってください。セニクリルが隠れる程度を目安に塗ってください。
塗り終わったら約6時間乾燥させます。

※ 中塗りを省き、1度塗りで仕上げることも可能ですが、その場合は下地の調整及び塗り厚に注意してください(セニクリルが隠れる厚さが目安です)。



③ 仕上げ（パターンづくり）

中塗りが乾燥したら、刷毛でペイント・ア・ラ・ショーを0.3mm厚程度に塗ります。刷毛を上下左右などに動かして塗り、お好みのパターンをつけます。約6時間乾燥させます。

※ 厚塗りすると亀裂が入る可能性があるのでご注意ください。

※ ②の段階の時に刷毛で模様を付けると、より立体感のある仕上がりになります。



④ 仕上げ応用編

仕上げの際、刷毛で塗った後にステンレスコテで軽く抑えることでアンティークな壁面をつくることができます。軽く触ってもペイント・ア・ラ・ショーが手につかない状態まで乾いた時点で押さえてください。（夏30分、冬1時間が目安です）ステンシルコテまたは金ベラで磨くと、表面にツヤを出すこともできます。磨けば磨くだけツヤが出るので、お好みに合わせて調整してください。

※ 完全に硬化した後だと、磨いてもツヤが出ないのでご注意ください。

